



2023年9月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年8月14日

上場会社名 株式会社エアトリ 上場取引所 東
 コード番号 6191 URL http://airtrip.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 兼 CFO (氏名)柴田 裕亮
 問合せ先責任者 (役職名)代表取締役社長 兼 CFO (氏名)柴田 裕亮 (TEL) 03(3431)6191
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第3四半期の連結業績 (2022年10月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期 第3四半期	16,752	96.0	2,657	52.4	2,601	65.0	1,750	43.2	1,873	47.1	1,746	26.2
2022年9月期 第3四半期	8,545	△39.8	1,743	△43.2	1,575	△47.7	1,222	△49.8	1,273	△42.8	1,383	△43.0

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第3四半期	84.41	83.06
2022年9月期第3四半期	57.54	56.43

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年9月期第3四半期	30,076	11,880	11,282	37.5
2022年9月期	24,135	9,908	9,185	38.1

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2023年9月期	—	0.00	—	—	—
2023年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の連結業績予想 (2022年10月1日～2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	24,000	76.6	3,000	33.7	2,900	42.9	2,000	16.8	90.05	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年9月期3Q	22,367,465 株	2022年9月期	22,157,465 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2023年9月期3Q	309 株	2022年9月期	309 株
------------	-------	----------	-------

③ 期中平均株式数

2023年9月期3Q	22,188,516 株	2022年9月期3Q	22,126,431 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の通期連結業績予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれています。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束するものではありません。当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化、クライアントのニーズ及びユーザーの嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更、為替変動等、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	4
(1) 経営成績に関する説明	4
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	7
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	8
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	10
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	14
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	15
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	17
(継続企業の前提に関する注記)	17
(会計方針の変更)	17
(セグメント情報等)	17
(重要な後発事象)	19

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	増減率 (%)
連結経営成績				
売上収益	8,545	16,752	8,207	96.0
営業利益	1,743	2,657	914	52.4
税引前四半期利益	1,575	2,601	1,025	65.0
親会社の所有者に帰属する四半期利益	1,273	1,873	599	47.1

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は企業収益について、一部に弱さがみられるものの総じて改善している他、個人消費が緩やかに持ち直している等、景気は緩やかに回復しています。

旅行業界を取り巻く環境は、国内では行動制限が緩和され、訪日旅行でも各国の入国制限の緩和が進んだこと等により、旅行需要が急速に回復しています。

当社グループは、成長戦略「エアトリ“リ・スタート”」の実行により、堅調に利益の積み上げを継続しております。

今後、新型コロナ5類移行に伴う国内・海外旅行需要の更なる増加を見込んでおり、新たな行動様式に基づく旅行需要に応じた戦略的マーケティング投資によるエアトリ旅行事業の収益拡大、旅行事業以外の6つの事業の成長継続と戦略的な事業ポートフォリオ構築により、エアトリグループは終わりになき成長を目指しております。

当第3四半期連結累計期間における売上収益では、旅行需要回復による大幅な増収によりオンライン旅行事業では前年同期比113.0%増の16,459百万円となりました。ITオフショア開発事業では前年同期比38.1%減の261百万円、投資事業では前年同期比92.1%減の31百万円となりました。以上より、当第3四半期連結累計期間における売上収益は、前年同期比96.0%増の16,752百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における営業利益では、旅行需要回復による粗利益の増加や、事業ポートフォリオの分散及び再構築の一環として取り組んだコスト削減策等の施策による増益効果がありました。オンライン旅行事業では前年同期比1,103百万円増の営業利益2,609百万円、ITオフショア開発事業では前年同期比539百万円減の営業損失115百万円、投資事業では前年同期比529百万円増の営業利益970百万円となりました。以上より、当第3四半期連結累計期間における営業利益は、前年同期比52.4%増の2,657百万円となりました。

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。

セグメント業績の概況

オンライン旅行事業

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	増減率 (%)
売上収益	7,724	16,459	8,735	113.0
セグメント利益	1,505	2,609	1,103	73.3

1. エアトリ旅行事業

当社は創業当時からオンラインに特化した旅行会社として、お客様へ便利なサービスを提供してまいりました。3つの強みである「仕入れ力」「多様な販路」「システム開発力」を主軸として、以下のサービスを展開しております。

①BtoCサービス（自社直営）分野

当社は業界最大規模の航空券取扱と各航空会社、東日本旅客鉄道との提携等で、強い競争力を実現しています。国内・海外旅行コンテンツを簡単に比較・予約出来るサイト「エアトリ」を運営しております。サイトの使いやすさに一層こだわりお客様に最適な旅の選択肢を届けます。

②BtoBtoCサービス（旅行コンテンツ OEM提供）分野

航空券等の旅行商材を、他社媒体様へ旅行コンテンツとして提供をさせていただいております。コンテンツのラインナップを増やすことにより、媒体ユーザー様の顧客満足度向上の一助となります。

2. 訪日旅行事業・Wi-Fiレンタル事業

エアトリの子会社である株式会社インバウンドプラットフォームにおいて、訪日旅行事業を展開しております。訪日旅行客向けのWi-Fiルーターレンタルサービスを展開しており、長年の信頼と口コミでブランドを確立しております。キャンピングカーのレンタルと併せ、インバウンド需要に対するサービス拡大を図ります。

3. メディア事業

「伝えたいことを、知りたい人に」を理念とする当社子会社である株式会社まぐまぐにて、世界中からクリエイター等のコンテンツを集め、その情報に価値を感じる人の手元に届ける仕組みを開発・提供しています。無料・有料メールマガジン配信サービスの「まぐまぐ!」をはじめ、ライブ配信サービス「まぐまぐ!LIVE」、また、コンテンツを発掘し、数多くの知りたい人に届けることができるWEBメディア「MAG2 NEWS」「MONEY VOICE」「TRiP EDITOR」「by them」の運営を行なっています。

当第3四半期連結累計期間におけるオンライン旅行事業のセグメント売上収益は16,459百万円、セグメント利益は2,609百万円となりました。

ITオフショア開発事業

(単位：百万円)					
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	増減率 (%)	
売上収益	423	261	△160	△38.1	
セグメント利益	424	△115	△539	△127.1	

ITオフショア開発事業では、ベトナムのホーチミン、ハノイ及びダナンにて、主にEコマース・Webソリューション・ゲーム・システム開発会社等を顧客として、開発サービスを提供しております。

当第3四半期連結累計期間におけるITオフショア開発事業セグメントの売上収益は261百万円となりました。

投資事業

(単位：百万円)					
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	増減率 (%)	
売上収益	396	31	△365	△92.1	
セグメント利益	441	970	529	119.3	

投資事業では、成長企業への投資育成を行い、投資先企業との協業等によるシナジーを追求すると共に、投資先の成長や上場等に伴うキャピタルゲイン獲得を目指しています。当第3四半期連結累計期間においては、投資先を112社まで拡大しております。

当第3四半期連結累計期間における投資事業セグメントの売上収益は31百万円、セグメント利益は970百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ5,941百万円増加し30,076百万円となりました。これは主に、使用権資産が188百万円減少した一方で、現金及び現金同等物が2,019百万円、その他の金融資産が1,999百万円、その他流動資産が1,032百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債につきましては、前連結会計年度末に比べ3,969百万円増加し18,196百万円となりました。これは主に、有利子負債が1,007百万円減少した一方で、営業債務及びその他の債務が2,354百万円、その他の流動負債が2,194百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ1,971百万円増加し、11,880百万円となりました。これは主に、当第1四半期連結会計期間において実施した剰余金の配当221百万円により減少及び当第3四半期連結累計期間の利益に係る利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績につきましては、2023年5月15日に公表した「業績予想の修正に関するお知らせ」により開示を行った業績予想から変更はありません。変更があり次第、速やかに開示いたします。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	8,954	10,974
営業債権及びその他の債権	2,079	2,722
その他の金融資産	6,035	8,034
棚卸資産	77	23
その他の流動資産	1,167	2,199
流動資産合計	18,386	23,955
非流動資産		
有形固定資産	286	390
使用権資産	1,443	1,254
のれん	1,189	1,189
無形資産	1,191	1,372
持分法で会計処理されている投資	1,016	1,026
その他の金融資産	597	707
その他の非流動資産	18	165
繰延税金資産	6	13
非流動資産合計	5,748	6,120
資産合計	24,135	30,076

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	3,588	5,943
有利子負債	3,252	2,639
リース負債	178	176
その他の金融負債	192	189
未払法人所得税	215	649
その他の流動負債	2,144	4,338
流動負債合計	9,680	13,938
非流動負債		
有利子負債	2,764	2,371
リース負債	1,331	1,138
その他の金融負債	6	5
引当金	48	53
繰延税金負債	390	684
その他の非流動負債	3	5
非流動負債合計	4,545	4,257
負債合計	14,226	18,196
資本		
資本金	1,547	1,780
資本剰余金	2,094	2,309
利益剰余金	5,335	6,986
自己株式	△0	△0
その他の資本の構成要素	209	206
親会社の所有者に帰属する持分合計	9,185	11,282
非支配持分	723	597
資本合計	9,908	11,880
負債及び資本合計	24,135	30,076

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
売上収益	8,545	16,752
売上原価	△3,413	△7,425
売上総利益	5,131	9,327
販売費及び一般管理費	△4,662	△7,494
子会社の支配喪失に伴う利益	-	-
投資損益(△は損失)	301	969
持分法による投資損益(△は損失)	73	11
その他の収益	1,089	258
その他の費用	△189	△415
営業利益	1,743	2,657
金融収益	5	12
金融費用	△173	△68
税引前四半期利益	1,575	2,601
法人所得税	△353	△850
四半期利益	1,222	1,750
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,273	1,873
非支配持分	△51	△122
四半期利益	1,222	1,750
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	57.54	84.41
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	56.43	83.06

第3四半期連結会計期間

(単位：百万円)

注記	前第3四半期連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上収益	3,018	5,164
売上原価	△1,138	△1,741
売上総利益	1,880	3,423
販売費及び一般管理費	△1,801	△2,833
投資損益(△は損失)	156	599
持分法による投資損益(△は損失)	24	1
その他の収益	2	119
その他の費用	3	△241
営業利益	265	1,068
金融収益	1	△25
金融費用	△70	△27
税引前四半期利益	196	1,016
法人所得税	△85	△418
四半期利益	111	598
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	154	758
非支配持分	△43	△159
四半期利益	111	598
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	6.99	34.12
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	6.86	33.59

要約四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
四半期利益	1,222	1,750
その他の包括利益(税引後)		
純損益に振り替えられる可能性のある 項目		
在外営業活動体の換算差額	162	△5
持分法適用会社におけるその他の包括 利益に対する持分の組替調整額	△1	1
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	161	△4
その他の包括利益(税引後)合計	161	△4
四半期包括利益	1,383	1,746
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,355	1,871
非支配持分	28	△124

第3四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期利益	111	598
その他の包括利益(税引後)		
純損益に振り替えられる可能性のある 項目		
在外営業活動体の換算差額	77	55
持分法適用会社におけるその他の包括 利益に対する持分の組替調整額	△1	6
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	76	62
その他の包括利益(税引後)合計	76	62
四半期包括利益	187	660
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	191	793
非支配持分	△4	△131

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	その他の資本 の構成要素	自己株式			
2021年10月1日現在	1,529	2,013	3,864	68	△0	7,475	661	8,136
四半期利益	-	-	1,273	-	-	1,273	△51	1,222
その他の包括利益	-	-	-	82	-	82	79	161
四半期包括利益	-	-	1,273	82	-	1,355	28	1,383
剰余金の配当	-	-	△221	-	-	△221	-	△221
新株発行	16	16	-	-	-	32	-	32
支配継続子会社に対する持 分変動	-	△2	-	-	-	△2	13	11
振替及びその他の変動によ る増加(減少)	-	-	△21	△1	△0	△22	6	△16
所有者との取引額等合計	16	13	△242	△1	△0	△213	20	△193
2022年6月30日現在	1,545	2,027	4,895	149	△0	8,617	709	9,326

当第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	その他の資本 の構成要素	自己株式			
2022年10月1日現在	1,547	2,094	5,335	209	△0	9,185	723	9,908
四半期利益	-	-	1,873	-	-	1,873	△122	1,750
その他の包括利益	-	-	-	△1	-	△1	△2	△4
四半期包括利益	-	-	1,873	△1	-	1,871	△124	1,746
剰余金の配当	6	-	△221	-	-	△221	-	△221
新株発行	233	233	-	-	-	466	-	466
支配継続子会社に対する持 分変動	-	△17	-	-	-	△17	△12	△30
振替及びその他の変動によ る増加(減少)	-	△0	△0	△1	0	△1	11	10
所有者との取引額等合計	233	215	△221	△1	0	226	△1	224
2023年6月30日現在	1,780	2,309	6,986	206	△0	11,282	597	11,880

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,575	2,601
減価償却費及び償却費	535	505
投資損益(△は益)	△301	△969
引当金の増減額(△は減少)	110	399
受取保険金	△200	-
事業譲渡益	△277	-
持分法投資利益	△73	△11
持分変動損益(△は益)	△290	5
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△921	△950
棚卸資産の増減額(△は増加)	102	△2
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	2,355	2,634
前渡金の増減額(△は増加)	△748	△1,017
差入保証金の増減額	60	△17
営業投資有価証券の増加額(△は増加)	△550	△1,046
その他	1,107	1,510
小計	2,483	3,640
利息及び配当金の受取額	5	0
利息の支払額	△90	△54
法人所得税の支払額	△384	△108
保険金の受取額	200	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,215	3,478
投資活動によるキャッシュ・フロー		
関係会社株式の取得による支出	△21	△2
関係会社株式の売却による収入	61	-
有形固定資産の取得による支出	△33	△193
有形固定資産の売却による収入	0	33
無形資産の取得による支出	△491	△529
定期預金の預入による支出	△84	△169
定期預金の払戻による収入	-	240
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の 売却に伴う支出	△4	-
非連結子会社清算による収入	103	-
その他	△55	△23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△526	△643
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,229	△100
長期借入れによる収入	900	500
長期借入れの返済による支出	△1,875	△1,257
社債の発行による収入	1,250	-
社債の償還による支出	△43	△131
株式の発行による収入	32	465
非支配株主からの払込による収入	11	-
リース負債の返済による支出	△258	△117
親会社所有者への配当金の支出	△226	△213
その他	16	△40
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,424	△893
現金及び現金同等物に係る換算差額	158	13

現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	423	1,954
現金及び現金同等物の期首残高	8,771	8,954
売却目的で保有する資産への振替に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	-	65
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,194	10,974

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループでは、「One Asia」をビジョンに掲げ、アジアの様々なチャンスやエンジニアを繋ぐ架け橋となることを目指し、「オンライン旅行事業」「ITオフショア開発事業」「投資事業」と3つの事業を柱に独自性が高いビジネスモデルを事業として主な報告セグメントとして区分し、グループ戦略を立案・決定しております。

なお、各報告セグメントに含まれる事業と主要製品は、以下のとおりであります。

オンライン旅行事業	: エアトリ旅行事業、訪日旅行事業・Wi-Fiレンタル事業、メディア事業
ITオフショア開発事業	: ラボ型オフショア開発サービス、BPOサービス
投資事業	: 成長・再生企業への投資

(2) セグメント収益及び業績の算定方法

報告されているセグメントの会計処理の方法は、要約四半期連結財務諸表作成の会計方針と同一であります。

(3) セグメント収益及び業績に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結合計	
	オンライン 旅行事業	IT オフショア 開発事業	投資事業	計					
外部売上収益	7,723	422	396	8,542	2	8,545	-	8,545	
セグメント間収益	1	1	-	2	-	2	△2	-	
売上収益合計	7,724	423	396	8,544	2	8,547	△2	8,545	
セグメント利益又は 損失(△)(注3)	1,505	424	441	2,371	2	2,374	△631	1,743	
金融収益									5
金融費用									△173
税引前四半期利益									1,575

(注1) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告収益などの事業を含んでおりません。

(注2) 「調整額」の区分は、主に各報告セグメントに帰属しない全社費用及びセグメント間取引であります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注1)	連結合計	
	オンライン 旅行事業	IT オフショア 開発事業	投資事業	計					
外部売上収益	16,459	261	31	16,752	-	16,752	-	16,752	
セグメント間収益	0	-	-	0	-	0	△0	-	
売上収益合計	16,459	261	31	16,752	-	16,752	△0	16,752	
セグメント利益又は 損失(△)(注2)	2,609	△115	970	3,464	-	3,464	△807	2,657	
金融収益									12
金融費用									△68
税引前四半期利益									2,601

(注1) 「調整額」の区分は、主に各報告セグメントに帰属しない全社費用及びセグメント間取引であります。

(注2) セグメント利益又は損失(△)は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

前第3四半期連結会計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結合計	
	オンライン 旅行事業	IT オフショア 開発事業	投資事業	計					
外部売上収益	2,826	131	60	3,018	0	3,018	0	3,018	
セグメント間収益	0	0	-	1	-	1	△1	-	
売上収益合計	2,826	132	60	3,019	0	3,019	△1	3,018	
セグメント利益又は 損失(△)(注3)	248	55	133	438	0	438	△173	265	
金融収益									1
金融費用									△70
税引前四半期利益									196

(注1) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告収益などの事業を含んでおりません。

(注2) 「調整額」の区分は、主に各報告セグメントに帰属しない全社費用及びセグメント間取引であります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注1)	連結合計	
	オンライン 旅行事業	IT オフショア 開発事業	投資事業	計					
外部売上収益	5,070	77	15	5,164	-	5,164	-	5,164	
セグメント間収益	△0	-	-	△0	-	△0	0	-	
売上収益合計	5,070	77	15	5,164	-	5,164	0	5,164	
セグメント利益又は 損失(△)(注2)	971	△115	604	1,460	-	1,460	△391	1,068	
金融収益									△25
金融費用									△27
税引前四半期利益									1,016

(注1) 「調整額」の区分は、主に各報告セグメントに帰属しない全社費用及びセグメント間取引であります。

(注2) セグメント利益又は損失(△)は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。